大規模災害に対する事前防災の推進

- 地域レベルでの具体的なシミュレーションに基づく災害リスク評価（定量的弱部分析）及びそれを踏まえた計画の企画・立案を推進する。
- 千島海溝地震、日本海溝地震、首都直下地震及び南海トラフ地震の基本計画において、減災目標の達成に向け各施策を着実に推進する。

現状・課題

✓ 防災庁設置に先立ち、「定量的弱部分析ガイドライン（案）」を令和8年7月に公表するなど、自治体に対し定量的な評価を踏まえたより実効性の高い防災計画検討を促進する取組を実施。
✓ 基本計画で掲げた減災目標の達成に向け、各施策が着実に実施されているか進捗状況や課題の把握等が必要である。

施策の方向性

✓ 定量的弱部分析を拡充し、より実効性の高い事前防災対策を促進

- 対象災害の拡充（水害、火山災害等）
- 被害項目の拡充（死者数軽減等）
- 災害等で新たに顕在化した課題を踏まえた検討
- AIを活用した災害リスク評価手法の開発による地方自治体の効率的な防災対策検討の支援　等

✓ 各施策の進捗管理と自治体支援

- 基本計画における各施策の進捗状況把握及びフォローアップ、防災大臣の勧告権を背景とした対策の推進
- 各施策の課題について、有識者の意見を取り入れ、実効性の高い方策検討や計画見直しの実施
- 地方自治体の取組改善に向け、優良事例等の情報提供や助言等の実施

事前防災対策の推進イメージ



目指すべき姿

✓ 定量的弱部分析を通じて、社会・地域の弱部を明らかにすることで**必要な対策の企画・立案**を行い、**各施策の進捗を把握**した上で、防災庁が司令塔となって勧告権も背景に関係省庁と連携して取組を推進することで**事前防災の徹底**を図る